



アレルギー・免疫に関する研究／総合診療に関する研究

対象学年：1～6年生

アレルギー・免疫に関する研究

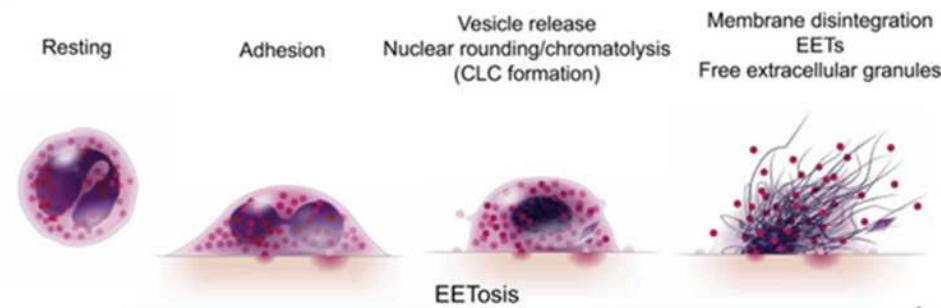
花粉症、気管支喘息、アトピー性皮膚炎・・・アレルギー疾患は、今や国民病と比喻されるほど頻度が高く、注目されている時代です。私たちの講座では免疫細胞の働きやアレルギーのメカニズムを解明し、新しい治療法や診断法の開発を目指す研究を行っております。特に当講座は「好酸球」が特殊な細胞死を起こすこと（EETosis）を世界で初めて発見し、病原体の除去やアレルギーの悪化との関連性を示唆した業績に因み、EOSMAN'S LABの看板を掲げております。医局や実験室内で密かに流行しているEOSMANグッズを探そう！

総合診療に関する研究

「総合診療」は19番目の専門領域として脚光を浴びている分野です。「すべての診療科の医師に総合診療マインドを！」を合言葉に、学生・研修医教育に力を入れつつ、多彩な症例経験を元に症例報告や観察研究を行っております。また総合診療医センターとして地域医療機関との連携を積極的に行っているため、地域医療実習の受け入れも盛んです。

論文を書こう！学会発表しよう！

当講座では、学生が取り組んだ研究の成果として、論文執筆や学会発表を行うことを積極的にサポートしています。学生の特権＝アカデミアの世界がすぐそこにあること。ご興味ある方はぜひご連絡を🎵



1年生も学会に参加！



当講座HP(研究実績) GP NET(ブログ)

※お問い合わせは、総合診療・検査診断学講座（総合診療医センター）引地 悠, MD, PhD まで
電話：018-884-6428 E-mail：harukahikichi@gmail.com